

令和6年度 学 習 案 内 (シラバス)



鴻巣市立赤見台第二小学校

は じ め に

鴻巣市立赤見台第二小学校

校長 池澤 道弘

鴻巣市立赤見台第二小学校の「学習案内（シラバス）」をお知らせします。

「学習案内（シラバス）」とは、本校の教育目標「あかるく元気な子・かんがえて勉強する子・みんなとなかよくする子」の具現化を図るため、学校と保護者・地域が一体となって、子どもたちに[生きる力]を身に付けさせることを目指し、各教科・領域の目標、内容、学習方法や評価方法等の概要を示したものです。

（具体的な内容は下記を参照してください。）

シラバスとは、

- （１） 児童・保護者・地域の方々に対して、本校で行われる教育活動の概要を説明するものです。
- （２） 児童へ事前に学習内容に関する必要な情報を提供することで、学習に対する動機づけをするとともに学習計画に役立てることにより、自主的・計画的に学習が進められると考えているものです。
- （３） 各教科の重点目標、学習の工夫、評価のポイントなどを家庭と共有することにより家庭学習を充実させ、学力向上を目指すものです。

保護者の皆様、地域の皆様には、ぜひご一読いただき、本校の教育活動により一層のご理解を賜りますようお願いいたします。

国語の時間はこのようなことを学習します

自分の考えを自分の言葉で積極的に話したり、書いたりする力を付けます。また、言葉の使い方や文章の内容を正確に理解する力を付けることを通して、伝え合う力を高めます。

言語に対する感性を養い、国語に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育てます。

重点目標

【知識・技能】

日常生活に必要な国語について、その特性を理解し、適切に使う態度を育てます。

【思考力・判断力・表現力等】

日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を高めようとする態度を育てます。

【学びに向かう力・人間性等】

言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図ろうとする態度を育てます。

学習の工夫



低学年 順序立てて考える力や考えたり想像したりする力を高め、友だちとの関わりの中で、自分の思いや考えをもつ力を育てます。身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにします。読書活動、経験の報告や観察の記録、俳句や短文を書く活動を取り入れます。

中学年 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を高め、友だちとの考えの相違を比較して、自分の思いや考えをまとめる力を育てます。様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにします。辞書を使うこと、詩や報告書を作成する活動を取り入れます。

高学年 道筋立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を高め、相手や目的に応じて伝え、自分の思いや考えを広げる力を育てます。思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句の関係、構成や変化について理解し、語彙を豊かにして語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して語や語句を使う力を育てます。事実や経験を基に文章に書く活動を取り入れます。

評価のポイント



【知識・技能】

・言葉の特徴やきまり、文字の使い方などを理解して正しく使うとともに、文字の形や大きさ、配列などに注意して書いている。
(発言・観察・ノート・ワークシート等)

【思考力・判断力・表現力等】

・発言やスピーチの内容、話し方、聞き取り、話し合いなどを友だちと関わりながら高めている。相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書き、自分の思いや考えを広げている。
(発言・観察・ノート・ワークシート等)

【主体的に学習に取り組む態度】

・学習の目標をもち、目標に向かって計画を立てて学習したり既習事項を活用したりして、自分の考えや思いを深めようとしている。進んで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。
(発言・観察・ノート・ワークシート等)

かがやけ笑顔赤二っ子・こんなことをがんばろう

【知識・技能】

・言葉の特徴やきまり、文字の使い方などについて理解し、文字の形や大きさ、配列、筆圧などに注意して書けるようにしましょう。習った字を使って、正しい言葉遣いで文章を書きましょう。

【思考力・判断力・表現力等】

・相手や目的を意識して筋道を立てて話しましょう。相手に伝わるように理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように構成を考えることができるようにしましょう。

【学びに向かう力・人間性等】

・学習の見通しをもって取り組み、幅広く読書をし、国語に対する関心を深めましょう。



社会の時間はこのような学習をします

社会的な見方・考え方を働かせて、課題を追究したり解決したりする活動を行います。グローバル化する国際社会で、主体的に生きる平和で民主的な国家や社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育てます。

重点目標

【知識・技能】

地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解しようとする態度を育てます。また、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けようとする態度を育てます。

【思考力・判断力・表現力等】

社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力を育てます。また、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を育てます。

【学びに向かう力・人間性等】

社会的事象について、多角的な思考や理解を通して、自分の考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てます。

学習の工夫

中学年 地域の素材を教材化したり、地域の施設を積極的に活用したりするなど、地域の人々と触れ合いのある学習活動を進めていきます。

高学年 学校図書館やパソコンなどを活用して社会的事象を具体的に調査したり、資料を効果的に活用したりして、学び方を身に付けていきます。



評価のポイント

【知識・技能】

- ・地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して、社会生活について理解している。(テスト・ワーク)

【思考力・判断力・表現力等】

- ・社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりしている。(新聞等の作成物・ワーク)

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・授業の中で、多角的な思考や理解を通して自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。(発言・行動観察・ノート)

かがやけ笑顔赤二っ子・こんなことをがんばろう

【知識・技能】

- ・自分や家族、地域の人などの全ての人が、お互いにどのような関わりをもって社会の中で生活しているのか理解を深めましょう。また、様々な資料を読み取ったり、調査活動を行ったりすることを通して、集めた情報を分かりやすく正確にまとめる力を付けましょう。

【思考力・判断力・表現力等】

- ・様々な仕事や活動の特色、生産の特色、地理的環境の特色等の関係や働き、役割を考えるときには、多くの立場や意見を取り入れながら考えることができるようにしましょう。
- ・学んだことの中から、自分たちに協力できることなどを選び出し、自分の意見や考えを決めるなど、判断する力を付けましょう。
- ・考えたことや選んだこと、決めたことを、資料などを使ってまとめたり、図表などに表したりして説明できる力を付けましょう。

【学びに向かう力・人間性等】

- ・自分から学習の問題を解決しようとしたり、よりよい社会について考えたりして、学習したことを生活に生かすことができるようにしましょう。

算数の時間はこのような学習をします

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育てます。見通しをもち、筋道を立てて考え、考察を深めたり多面的に分析したりすることを学びます。



重点目標

【知識・技能】

数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けようとする態度を育てます。

【思考力・判断力・表現力等】

日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を育てます。

【学びに向かう力・人間性等】

数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題解決する態度、算数で学んだことを生活や学習に活用する態度を育てます。



学習の工夫

低学年 数のまとまりや数量の関係に着目し、4位数までの理解を深め、数についての感覚を養います。計算の仕方や平面図形の性質を考えたり、時刻や時間を日常で活かせるようにしたりします。絵や図、具体物を多く用いて、数量や図形に進んで関わる態度を育てます。

中学年 数のまとまりや数量の関係に着目し、整数を万や億・兆の単位まで広げ、大きな数の大きさの比べ方や表し方を知り、数についての感覚を豊かにします。計算に関して成り立つ性質や図形を構成する要素を見いだしたり、実験・実測を通して普遍単位を知り、量を的確に表現したりします。表現・処理したことを振り返り、そのよさに気づき、生活や学習に活用する態度を育てます。

高学年 数の仕組みや構成する単位、数量関係に着目し、新たな視点から整数を捉え直し、数についての感覚をより豊かにします。目的に合った表現方法を用いて考えたり、既習の内容から論理的に説明したり、二つの数量の関係の変化や対応の特徴を考えたりします。表現・処理したこ

評価のポイント

【知識・技能】

・数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理している。（発言・観察・ノート）

【思考力・判断力・表現力等】

・日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし、統合的・発展的に考察する力を身に付けるとともに、数学的な表現を用いて事象を簡潔明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりしている。（発言・観察・ノート）

【主体的に学習に取り組む態度】

・数学的活動の楽しさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとしたり、算数で学んだことを生活や学習に活用したりしている。（発言・観察・ノート）

かがやけ笑顔赤二っ子・こんなことをがんばろう

【知識・技能】

・数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数、小数及び分数の意味と表し方、計算の意味、面積などの単位と測定の意味、図形の意味及び数量の関係が分かるようにしましょう。

【思考力・判断力・表現力等】

・数学的な表現を用いて、筋道を立てて考え表現したり、考えを深めたりできるようにしましょう。

【学びに向かう力・人間性等】

・多面的に考え、粘り強く問題の解決に取り組むことができるようにしましょう。

理科の時間はこのようなことを学習します

自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育てます。

重点目標

【知識・技能】

自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けようとする態度を育てます。

【思考力・判断力・表現力等】

見通しをもって観察、実験などを行い、問題を解決する力を育てます。

【学びに向かう力・人間性等】

自然を大切にする心や主体的に問題解決しようとする態度を育てます。



学習の工夫

中学年

- ・直接経験（飼育・栽培・観察・実験・ものづくりなど）を多く取り入れ、実感を伴った理解ができるようにします。
- ・自然と触れ合い、変化に気づく活動を多く取り入れます。

高学年

- ・観察・実験を繰り返し行い、基本的な技能を習得できるようにします。
- ・情報収集や情報交換のため、コンピュータや視聴覚機器を活用します。
- ・児童が安心して観察・実験ができるよう、安全に十分配慮します。

評価のポイント

【知識・技能】

- ・自然の事物・現象の規則性などについて理解している。（記録分析・発言分析）

【思考力・判断力・表現力等】

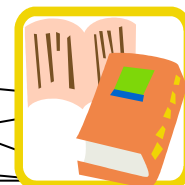
- ・自然の事物・現象の変化とその要因との関係に問題を見だし、条件に着目して計画的に追及し、量的変化や時間的变化について考察し、問題を解決している。

（発言分析・記録分析）

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・自然の事物・現象を意欲的に追及し、見いだしたきまりを生活にあてはめてみようとしている。（実験記録分析・発言分析・行動観察）

かがやけ笑顔赤二っ子・こんなことをがんばろう



【知識・技能】

- ・自然事象に対する基本的な性質・規則性を理解できるようにしましょう。

【思考力・判断力・表現力等】

- ・予想や仮説などをもとに変化に着目し、解決方法を発想できるようにしましょう。

【学びに向かう力・人間性等】

- ・自然に親しみ、現象に興味・関心をもち、見いだした特性を日常生活に活かすことができるようにしましょう。

生活科の時間はこのようなことを学習します

具体的な活動や体験（見る・聞く・触れる・作る・探す・育てる・遊ぶ）を行い、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し、生活を豊かにしていく資質・能力を育てます。

重点目標

【知識・技能】

活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴のよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けようとする態度を育てます。

【思考力・判断力・表現力等】

身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現しようとする態度を育てます。

【学びに向かう力・人間性等】

身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養い、自分の考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てます。

学習の工夫

- ・児童の興味・関心を踏まえ、学習対象との適切な出会いの場を用意するとともに、一人一人の児童の思いや願いが膨らむような学習活動を展開します。
- ・児童の身近な生活圏を活動や体験の場にします。
- ・活動や体験の中で感じたり考えたりしている児童の姿を丁寧に見取り、働きかけ、活動の充実につなげます。
- ・表現したり、行動したりすることを通して、働きかける対象や自分自身についての気付きをもつことができるようにします。

評価のポイント

【知識・技能】

- ・活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴のよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けようとしている。（発言内容・ワークシート・行動観察）

【思考力・判断力・表現力等】

- ・身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現しようとしている。（発言内容・ワークシート）

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、自分の考えを広げたり深めたりするとともに、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとしている。（発言内容・行動観察）

かがやけ笑顔赤二っ子・こんなことをがんばろう

【知識・技能】

- ・自分自身や身近な人、社会や自然などのよさに気付くとともに、生活を豊かにするために、自分の手や体、道具などを使うことができるようにしましょう。

【思考力・判断力・表現力等】

- ・自分自身と身近な人、社会や自然との関わりを具体的に考え、言葉や絵、動作や劇などの多様な方法で表現することができるようにしましょう。

【学びに向かう力・人間性等】

- ・身近な人、社会や自然に自分から積極的に関わり、自分の思いや願いを明確にして、進んで学んだり生活を豊かにしたりすることができるようにしましょう。



音楽の時間はこのようなことを学習します

様々な音楽活動を通して、音楽の楽しさや美しさを味わい、友だちと共に音楽活動する喜びを分かち合います。

重点目標

【知識・技能】

曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けようとする態度を育てます。

【思考力・判断力・表現力等】

音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴こうとする態度を育てます。

【学びに向かう力・人間性等】

音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培ったり考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てます。



学習の工夫

低学年 楽しく音楽に関わるとともに、身の回りの様々な音楽に親しみ、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を楽しめるようにします。

中学年 進んで音楽に関わるとともに、音楽経験を生かしながら協働して音楽活動をする楽しさを感じられるようにします。

高学年 主体的に音楽に関わるとともに、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養えるようにします。



評価のポイント

【知識・技能】

- ・曲想とリズムや拍との関わりに関心、友だちとリズムを合わせて手拍子で打つ技能を身に付けて演奏したり、歌詞の発音や呼吸の仕方に気を付けて、曲想にふさわしい自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌ったりしている。(学習プリント、テスト、演奏や歌唱の様子等)

【思考力・判断力・表現力等】

- ・曲想と旋律の特徴や歌詞の内容との関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりしたらよいかについて思いや意図をもっている。(学習プリント、鑑賞、演奏や歌唱の様子、旋律づくり 等)

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・音楽の特徴との関わりに関心・興味をもち、曲想やその変化と音楽の構造との関わりに関心・興味を深め、友だちと協働しながら曲や演奏のよさなどを見い出して曲全体を味わって聴く学習に進んで取り組もうとしている。(学習プリント、演奏や歌唱の様子、発言 等)

かがやけ笑顔赤二っ子・こんなことをがんばろう

【知識・技能】

- ・思いや意図に合った表現をするために必要な、自然で無理のない歌い方で歌うことや楽器の音色を生かした演奏の仕方を身に付けましょう。また、旋律の特徴や重なり、曲想との関わりに注目しましょう。

【思考力・判断力・表現力等】

- ・歌詞の内容や旋律の特徴、強弱などから気付いたことと曲想の関わりを考え、豊かな表現を工夫しながら歌ったり、どのように表現するかについて思いや意図をもって互いの音を聴き合いながら気持ちを合わせて合奏したりしましょう。

【学びに向かう力・人間性等】

- ・みんなで声や気持ちを合わせて表現する喜びや、ともに音楽をつくり上げていく喜びを味わいましょう。



図画工作の時間はこのようなことを学習します

絵を描いたりものをつくったり、鑑賞したりする活動を通して、自分の思いを形や色に表し、つくり出す喜びを味わうとともに、よさや美しさを感じながら豊かな生活にしようとする態度を養い、豊かな心を育てます。

重点目標

【知識・技能】

材料や用具などを使って、表し方などを工夫して創意的につくったり、表したりしようとする態度を育てます。

【思考力・判断力・表現力等】

自分の表したいことや表し方について考え、描いたり、つくったりするとともに、美術作品や他の作品などの形や色などから、表現の面白さを感じたり、よさを深めたりしようとする態度を育てます。

【学びに向かう力・人間性等】

つくり出す喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活をしようとする態度を育てます。



学習の工夫

低学年 表したいこと、つくりたいものを自分の表現方法でつくり出す喜びを味わえるようにします。材料をもとにした造形活動を楽しみ、体全体の感覚や技能を働かせるようにします。また、それらを見ることに興味をもち、その楽しさを感じ取れるようにします。

中学年 身の回りのものの色や形に関心をもち、楽しく描いたりつくったりしようとする態度を育てます。材料から豊かな発想をし、手や体全体を働かせて、表し方を工夫します。また、自分なりの見方や感じ方で作品のよさや面白さを感じ取れるようにします。

高学年 自分の思いをもち、造形的な能力を働かせるとともに、自分らしい活動を充実させて表現活動を楽しみ、喜びを味わう態度を育てます。見たことや感じたことをもとに想像力を働かせ、自分らしい表現で構想したり、表し方を工夫したりして表現していく力を育てます。また、自分なりの見方や感じ方で作品のよさや美しさに親しみ、それらを大切にできる力を付けます。

評価のポイント

【知識・技能】

・造形的な視点について、自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や方法を生かして自分の思いを工夫してつくったり表したりしている。(行動・対話・作品・表現)

【思考力・判断力・表現力等】

・感じたこと、見たこと、材料や場所などをもとに、創造性豊かに発想や構想をしたり、作品に対する自分の見方や感じ方を深めたりしている。(行動・対話・作品・表現・材料の選択・鑑賞態度や記述)

【主体的に学習に取り組む態度】

・自分の思いをもって表現したり、鑑賞したりしながら、つくり出す喜びを味わっている。(行動・対話・作品・表現・材料集め)

かがやけ笑顔赤二っ子・こんなことをがんばろう

【知識・技能】

・形や色、質感などの造形的な視点について理解したり、感性を働かせたり経験を生かしたりしながら、材料や用具を使って表したいことに合わせて表し方を工夫できるようにしましょう。

【思考力・判断力・表現力等】

・感性や想像力を働かせて、形や色、奥行きなどのよさや美しさ、表したいことや表し方などをとらえ、これをもとに自分のイメージをもち、工夫して表現できるようにしましょう。

【学びに向かう力・人間性等】

・感性を働かせながら作品などをつくったり見たりする楽しみや喜びを味わうとともに美しいものや優れたものに接して感動する心や、形や色などに対する好奇心をもって生活や社会と関わろうとする態度を育てましょう。

家庭科の時間はこのようなことを学習します

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成することを目指します。

重点目標

【知識・技能】

家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、基礎的な知識や技能を身に付けようとする態度を育てます。

【思考力・判断力・表現力等】

日常生活の中から課題を設定し、解決しようとする態度を育てます。

【学びに向かう力・人間性等】

家庭生活を大切にする心情を育み、家族の一員として生活をよりよくしようと実践的に工夫することを通して、考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てます。



学習の工夫

- ・これまで過ごしてきた家庭生活を見つめ直し、家庭生活の大切さを知るようにします。
- ・なぜ着るのか、なぜ食べるのかなど、衣食住の意義を意識して生活することの大切さを知るようにします。
- ・自分と家族との関わりを考えて、家庭生活をよりよくする計画を立てます。
- ・実践的・体験的な活動を取り入れ、技能の定着を目指します。
- ・自分の生活の中から課題を見つけ、解決するための方法を考え、実践し、振り返る活動を行い、生活をよりよくしていくようにします。

評価のポイント

【知識・技能】

- ・家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な事柄を理解するとともに、それらに係る技能を身に付けている。(学習プリント、テスト、作品、実習の様子 等)

【思考力・判断力・表現力等】

- ・日常生活の中から問題を見いだして課題を設定するとともに、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善したり、考えたことを表現したりする活動を通して、課題を解決しようとしている。(学習プリント、テスト、作品、実習の様子 等)

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようとしている。(授業での様子、課題の提出状況、学習プリント、テスト、家庭での実践記録 等)

かがやけ笑顔赤二っ子・こんなことをがんばろう

【知識・技能】

- ・器具や用具の適切な取扱い方をしっかり身に付け、楽しく安全に実習できるようにしましょう。

【思考力・判断力・表現力等】

- ・家庭生活をよく観察し、自分なりの課題を見つけて学習に取り組みましょう。

【学びに向かう力・人間性等】

- ・学習したことを実際の家庭生活の中で、繰り返し実践しましょう。
- ・自分と家族、地域の人々との関わりを考え、家族の一員として協力して生活する態度を身に付けましょう。

体育の時間はこのようなことを学習します

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し 豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指します。

重点目標

【知識・技能】

各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や体の発育・発達について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けようとする態度を育てます。



【思考力・判断力・表現力等】

運動や身近な生活における自己の健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えようとする態度を育てます。

【学びに向かう力・人間性等】

各種の運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友だちの考えを認めたり、場や用具の安全に留意したりして、最後まで努力して運動する態度を養います。

学習の工夫

低学年 運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けるようにします。運動遊びの行い方を工夫し、考えたことを他者に伝える力を養います。

中学年 運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や体の発育・発達について理解し、基本的な動きや技能を身に付けるようにします。自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫し、考えたことを他者に伝える力を養います。

高学年 運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予防について理解し、各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにします。自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫し、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養います。

評価のポイント

【知識・技能】

- ・運動の行い方や健康で安全な生活の仕方を理解し、基本的な技能を身に付けている。(行動観察・発言・記述)

【思考力・判断力・表現力等】

- ・自分に合った課題の解決の仕方や運動の取り組み方を考え工夫している。
(行動観察・発言・ワークシート)

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・運動に進んで取り組みもうとしている。用具等の使い方や運動の行い方のきまりを守っている。
- ・仲間とともに協力して運動しようとしている。
- ・安全に気をつけている。(行動観察・発言)

かがやけ笑顔赤二っ子・こんなことをがんばろう

【知識・技能】

- ・楽しく運動し、運動の行い方を理解したり、技能を身に付けたりすることができるようにしましょう。

【思考力・判断力・表現力等】

- ・運動のコツや課題を見付け、考えたことを相手に伝えることができるようにしましょう。

【学びに向かう力・人間性等】

- ・安全に気を付け、決まりを守って友だちと仲良く運動することができるようにしましょう。

外国語・外国語活動の時間はこのようなことを学習します

外国語に触れたり、外国語によるコミュニケーションを体験したりしながら、コミュニケーション能力の素地、基礎を養います。

重点目標

【知識・技能】

外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しんだり、コミュニケーションするための基本的な技能を身に付けたりします。

【思考力・判断力・表現力等】

外国語を聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちなどを表現できるように、伝え合う力を養います。

【学びに向かう力・人間性等】

相手に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ることを通して、考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てます。



中学年・高学年共通

- ・音声 CD や ICT 教材を用いて、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませます。
- ・英語を中心としながら、諸外国の言語や文化に幅広く触れ、国際理解を深めます。

中学年

- ・3・4年生では週1回、「Let's Try!」やオリジナルワークシートなどを使いながら、指導教員が ALT と一緒に体験的に授業を行います。

高学年

- ・5・6年生では週に2回、「Junior Sunshine」やオリジナルワークシートなどを使いながら、指導教員が ALT と一緒に体験的に授業を行います。
- ・5・6年生は、「聞く」「話す」「読む」「書く」を学習の中で行います。

学習の工夫

評価のポイント

【知識・技能】

- ・外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深めたり、日本語と外国語の音声の違い等に気付いたりすることなどを通して、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しんでいる。

【思考力・判断力・表現力等】

- ・身近で簡単な事柄について外国語で聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちなどを伝えている。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

○3・4年生については、記述式の評価になります。

※行動観察・ワークシート・発表・発言・ペーパーテスト等で評価します。



かがやけ笑顔赤二子・こんなことをがんばろう

【知識・技能】

- ・外国と日本の言葉や文化の違いに気付いたり、楽しみながら活動したりできるようにしましょう。

【思考力・判断力・表現力等】

- ・積極的に自分の考えや気持ちを伝えたり、友だちの考えや気持ちを聞いたりするようにしましょう。

【学びに向かう力・人間性等】

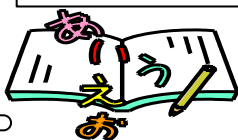
- ・たくさんの友だちや先生方と進んでコミュニケーションをとることができるようにしましょう。

道徳の時間はこのようなことを学習します

人間が本来もっている「よりよく生きたい」という願いをもとに、自己を見つめる時間です。学習を通して、人間を尊重し生命を大切にする心を育て、これからの自分の生き方に生かしていくことを目指します。

重点目標

- ・人間としてよりよく生きるために共通の心構えや行動の仕方を様々な体験や学習を通して学びます。
- ・教師と児童が一緒になって、考え、悩み、感動を共有し学び合うという姿勢をもって学びます。
- ・児童ひとりひとりが、主体的に道徳的価値について考え、道徳的实践力が身に付くようにします。



○けじめのある生活ができる

- ①時刻を守る。
- ②身の回りの整理整頓をする。



○礼儀正しく人と接することができる

- ①進んであいさつや返事をする。
- ②丁寧な言葉遣いを身につける。

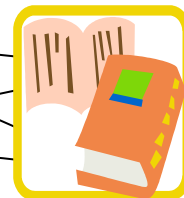
学習の工夫

- ・道徳の時間においては、「心に響き、心が動く」学習をし、考え・議論できるようにします。
(感動的な読み物資料・ビデオの活用、感動の共有化、校長・教頭による話)
- ・体験活動を生かした学習を行います。
(生活科やはなみずき学習における多くの体験活動、自然体験活動)
- ・家庭や地域との連携を図る学習を行います。
(地域の方によるゲストティーチャー、「わたしたちの道徳」の活用等)

評価のポイント

道徳の時間は、教師が児童の人間的な成長を見守り、よりよく生きようとする努力を評価し勇気づける働きをもつものです。そのため、学習中の発言や感想、生活の様子、作文等により、児童の道徳性の共感的理解に努め、その結果を指導に生かすようにしています。
また、担任ひとりではなく、広い視野に立って多くの目で評価するよう努めています。
こうした道徳の特性を踏まえ、数値などによる評価は行わず、記述による評価としています。

かがやけ笑顔赤二っ子・こんなことをがんばろう



低学年

- ・わがママをしないで、きそく正しい生活ができるようにしましょう。
- ・よいこととよくないことをくべつして、よいことをすすんでしましょう。

中学年

- ・自分でやろうと決めたことは、ねばり強くやりとげましょう。
- ・友だちとたがいに協力し、助け合いましょう。

高学年

- ・いつも広い心を持ち、自分と違う意見も大切にしましょう。
- ・みんなのために働く喜びを知り、進んで行いましょう。

全学年

- ・生命の大切さに気づき、自他の生命を大切にしましょう。

特別活動の時間はこのようなことを学習します

◆特別活動には、4つの内容があります。

学級活動

話し合い活動、学級指導、
キャリア教育

学校行事

入学式、卒業式、
運動会、林間学校 等

児童会活動

代表委員会、委員会活動、
集会活動 等

クラブ活動 (4~6年)

ボール、卓球
手作り、ダンス 等

重点目標

- みんなでよりよい学級生活を目指す活動を通して、学級集団の協働性を高めます。
- 学級や学校の一員として役割を果たすことにより、自立して生きるために必要な能力や態度を育てます。
- よさや可能性を生かして努力する活動を通して、なりたい自分の実現に繋がります。
- 児童が自主的によりよい生活やよりよい人間関係を築くことにより、学び合う学級の雰囲気をつくり、学ぶ意欲を高めます。
- 自分で決めて、自分で頑張る活動の場や機会を通して、自己指導能力を高めます。
- 実践を通して学ぶ特別活動と、心を育てる道徳科を関連させることにより、自己の生き方についての考えを深めます。

学習の工夫

(1) 学級や学校における
生活づくりへの参画

○話し合い活動

「学級の歌を決めよう」「バス
レクを考えよう」などの
計画、話し合い、実践

○係活動

「新聞係」「ゲーム係」な
どの組織作りと実践

○集会活動

「1学期がんばったね！
集会」などの計画と実践

学級活動

(2) 日常生活や学習への適応
自己の成長及び健康安全

○基本的な生活習慣

○よりよい人間関係

○心身ともに健康で安全な生 活態度

○食育の観点を踏まえた学校 給食と望ましい食生活

(3) 一人一人のキャリア
形成と自己実現

○現在や将来に希望や目標 をもって生きる

将来の夢や目標など

○社会参画意識や働くこと の意義

係活動や当番活動など

○主体的な学習態度の形成 と学校図書館等の活用

自主学習や学校図書館を
使った学習の仕方など

評価のポイント

- ・ 自分の考えをもって、学級会に臨んでいる。
- ・ 学級会で決まったことに対して、積極的に取り組んでいる。
- ・ 友だちと協力し合い、学校やクラスを楽しくよりよいものにしようと考えて活動している。
- ・ 自分で立てた目標に向かって、取り組んでいる。
- ・ 他の学年の友だちと協力をして、活動している。
- ・ 自己評価
- ・ 友だち同士の相互評価

などを総合的に評価します。

かがやけ笑顔赤二っ子・こんなことをがんばろう

楽しい学校生活を送るために、この2つができるようにしましょう。

- ・ 同じ学年の友だちだけでなく、違う学年の友だちとも仲良くする。
- ・ 「学校のために何ができるのか」、「クラスをもっと楽しくするために何ができるか」を考え、行動できるようにする。

総合的な学習の時間はこのようなことを学習します

探求的な見方・考え方を働かせ、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えることを通して、以下の目標に掲げた資質・能力を育てます。

重点目標

【知識・技能】

探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識や技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求的な学習のよさを理解しようとする態度を育てます。

【思考力・判断力・表現力等】

実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現しようとする態度を育てます。

【学びに向かう力、人間性等】

探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、お互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を育てます。



学習の工夫

- ・課題解決をするために、コンピュータや図書館の資料で調べたり、ゲストティーチャーの協力を得てたりして、一人一人が研究します。
- ・研究のまとめとして、自分なりの方法で発表を行います。

評価のポイント

【知識・技能】

- ・探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識や技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

- ・「国際理解」「環境」「情報」「健康福祉」等の単元で、自分なりの課題を発見している。
- ・課題解決のために、自分なりの活動計画を立てている。
- ・課題解決に向け、手段を選択して情報を収集している。
- ・相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で、分かりやすく表現している。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・課題解決に向け、自分のよさを生かしながら、探究活動に進んで取り組もうとしている。
 - ・自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。
- ※ワークシート、作成した資料、発表の様子で評価します。

かがやけ笑顔赤二っ子・こんなことをがんばろう

【知識・技能】

- ・社会や生活の中から問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集めましょう。
- ・集めた情報を整理・分析して、自分なりの方法でまとめたり表現したりしましょう。

【思考力・判断力・表現力等】

- ・自分で課題を立て、コンピュータ等を活用して、情報を収集・整理したり、発信したりしましょう。

【学びに向かう力・人間性等】

- ・友だちと話し合うなど、協力して学習しましょう。